

笑顔 団結 思いやり～人間力を大切にした学年へ～

SHINRYOKU

～新緑
新力～



明石市立朝霧中学校

第1学年 学年通信

平成29年10月27日

第36号

文化発表会を終えて①～みんなの作文から～

「嬉しい」 5組

嬉しかった。

成績発表の時、胸をドキドキさせて発表を待っていた。「5組」という声が聞こえた瞬間、心の中で「ヨッシャー！！」と叫んだ。

文化発表会の練習が始まった時、僕はとても楽しみだった。指揮者としてみんなを引っばって優秀賞をとれたら、どれだけ嬉しいかと思った。そして、練習をつみ重ねていくうちに、指揮をしていて、

だんだん迫力や、みんなのやる気が伝わってきて、これは優秀賞をとれるのではないかという気持ちが高くなってきた。それから練習を重ねていき、文化発表会本番…朝練でも気合が入っていた。黒板に書かれたみんなの気持ちが一つになっていざ本番。見事に歌いきった。指揮をしていてとても気持ちよかった。結果、優秀賞…やっぱり嬉しい。



「目覚めた！チーム 1-5！」
5組

何週間も前から練習を始めて、最初は音が取れなかったり、声が出なかったり、色々な課題がありました。しかしパートリーダーが毎日居残りをして、クラスのためにがんばってくれました。家では個人用CDで何時間も練習してきている人もいました。

でも、必死になって頑張っている人をしんどくさせる人もいました。何回も注意しているのに、全然聞いてくれないし、反抗してくるし、パートリーダーは必死になっている自分が恥ずかしくなりました。それでも道徳で習った『鬼の瞬間』のように、厳しく注意してなんとかクラス全員が本気をだしてくれるように全力で頑張ってきました。みんながそれに応えてくれて素晴らしい合唱ができました。本番では、指揮者・伴奏者・クラス発表者は、特に緊張していたと思います。しかし、ミスっても、みんなが歌声でカバーしてくれると信頼していたから、今回の文化発表会が成功したのだと思います。ここまで素晴らしい合唱をつくりあげた1-5のみんな本当にありがとう！



練習中もええ顔して歌っていた人がたくさんいましたね。みごとでした！